議事（1） 助成事業の選考方法について（案）

①（選考方法）

- スタートアップ助成：書類審査
- 団体応援助成：書類審査
- 分野指定助成：公開プレゼンテーション

②（公開プレゼンテーション及び審査委員会の方法）

- (i) 1団体あたりプレゼンテーション5分、委員による質疑応答5分。
- (ii) 申請書類及びプレゼンテーションを受けて審査（採点）を行い事務局で集計。
- (iii) 事務局により審査結果を提示し、審査会に諮る。

※【参考】H24 助成分～H26 助成分までの審査方法

（二次審査式による審査）

対象：分野指定助成で、申請された助成額の合計がその予算額の2倍以上だった分野のみ二次審査を実施

方法：①上記対象分野のみ公開プレゼン前に書類審査を行う。（一次審査）

②一次審査通過事業及び一次審査不要の分野事業に対して公開プレゼンを実施させる。

（問題点）

- ・申請多数の分野のみ一次審査を実施するため、公平性に欠ける。
- ・書類審査件数が多くなり、事前の審査時間が増える。

（これまでの申請、採択及び不採択件数）

	全体	分野別一次審査（書類審査）			二次審査（書類＋公開プレゼン）		
		対象	採択	不採択	対象	採択	不採択
H24	21	21	8	13	8	6	2
H25	12	8	6	2	10	6	4
H26	19	12	9	3	16	12	4
H27	17	実施せず			17	10	7

※H24 は分野別に助成募集をしなかったため、応募多数としてすべて一次審査対象とした。

③（審査基準）

項目	審査基準の説明	配点
市民ニーズ適合性	市民の多様なニーズ（需要・要望）を捉え、それらに対応した内容となっている。	5
効果性	その事業により、不特定多数の方への利益や、まちづくりに寄与するなど、公益的な効果が見込める。	5
全体の整合性	事業目的を実現するための手段や方法等が適切であり、事業を構成する各要素がお互いに合理的につながっている。	5
発展性	事業が将来に向けて持続していくか、事業の効果が広く地域に普及していくことが見込まれるとともに、今後当該事業が事業対象の拡大や事業内容の改善等を行いながら発展していく可能性がある。	5
地域の課題・特性（熊本らしさ）	熊本に愛着を持ち、どんな熊本にしたいのか、どんな熊本の未来につながる事業なのかなど、地域課題に焦点を当てた熊本らしさをアピールする取り組みである。	5

※ 各配点について

配点：スタートアップ助成、団体応援助成での書類審査、及び分野指定助成でのプレゼンテーション審査の配点。

審査基準点について

以下の審査基準点に満たないものは、不採択とする。

審査基準点：満点の50%以上であること（25点×7人×50%=88点）

④（審査のスケジュール）

日程	助成審査までのながれ
H27.12月～H28.1月	助成申請期間
H28.2月下旬～3月中旬	①書類審査（スタートアップ、団体応援）
H28.3月中旬	②書類審査の審査票を事務局に提出
H28.3月下旬	③公開プレゼンテーション（分野指定）
H28.4月	助成交付・不交付の決定通知を発送

- H28年2月下旬 分野指定、スタートアップ、団体応援の申請書類を各委員へ配布。
このうち、スタートアップ及び団体応援助成については、書類審査を行ってもらう。
- H28年3月中旬 スタートアップ及び団体応援助成の審査票を事務局へ提出。
- H28年3月下旬 分野指定助成の公開プレゼンを行い、事業内容について審査を行う。